

私の中学校での学習、高校での学習

生徒は、どのような意識で家庭学習に取り組んでいるのだろうか。

高校生となった今、中学時代にどのような学習をしていたのかを振り返り、高校での学習への影響についても聞いた。

高校の勉強は苦手科目中心で、得意科目の勉強時間が取れない

公立高校2年 黒木水月みづきさん

◎調べ学習には自分から取り組む

中学時代に勉強で最も影響を受けたのは、1年生の社会科の授業です。まずノートの取り方がユニークで、B5判ノートの左ページに板書を写し、右ページに授業で自分が大事だと思ったことを書くという方法でした。こうすると復習がしやすかったので、他教科でも同じ方法を取るようになりました。また、授業では4人1組で机を合わせていたので、他の人がどこでメモを取っているのかが分かり、先生の話を聞きながらどこが重要なのかをつかめるようになったと思います。時々、ある時代や、あるものの歴史についての調べ

学習が宿題に出ましたが、自分なりに気付いたことをまとめるのは楽しく、またそうすることで理解が深まっていったので、宿題以外にも調べ学習をするようになりました。小学校では授業の中の調べ学習が結構ありましたが、中学校ではほとんどありませんでした。週1回でもあれば、興味の幅が広がったのではないかと思います。

所属していた吹奏楽部の練習後に帰宅すると19時頃で、勉強は宿題や復習で1〜1時間半するのが精いっぱいでした。そのため、苦手な数学や理科は、宿題や復習と最低限はしましたが、それで授業についていけたので、

必要以上に勉強する気にはなれませんでした。

苦手科目対策に本腰を入れたのは、3年生になり、高校入試を意識してから。吹奏楽部の引退は秋でしたが、運動部の多くは夏休み前に引退します。周りが受験モードになり、自分もやらなければと焦りました。内申点を上げようと家での学習時間を増やし、定期考査対策に力を入れました。ただ志望校がなかなか決まらずに困りました。高校見学に行っても決められず、目標がなのまま勉強だけしていました。11月末に志望校が決まりましたが、周りがのんびりしていたら私も引退までそれほど勉強していなかったと思います。

◎高校では順位がはつきり出るから頑張れる

高校の授業は、中学校よりも進度が速く、分からなくてもどんどん先に進みます。中学時代は1回復習すれば理解できたのに、今は教科書やノートを何度も読み返さないと理解できません。本当は好きな科目の学習をしたいのに、その余裕はありません。得意科

1人で学べる生徒を育てる

目は学習時間が短くてもいい成績が取れますが、苦手科目は時間を費やしているのに思うような点が取れず、くじけそうになります。でも、今、友だちに学年トップの人がいて、その子が短い時間でも単語帳を開いている姿を見ると、努力してこそ良い成績が取れるの

だ、自分も頑張らなければと刺激を受けます。また、自分には負けず嫌いなところがあるようです。高校では成績の学年順位がはっきり出るので、思ったような成績が取れないと、次はもうちょっと上を目指そうという気持ちも、学習に向かう意欲になっています。

は全国の高校生と同じ土俵に立つ。全国の難関校の高校生と同じ大学入試で勝てるのかと考えました。高校での勉強は大学進学に直結することであり、将来のために勉強するものだと思います。ならば、勝負のしやすい、好きな教科に力を入れることにしたのです。

授業の中でもっと教養を
教えてほしかった

私立高校3年 川原大洋さん



◎全教科合わせて平均点を取ればいい

自分でもあまり良くないと思うのですが、中学時代は定期考査前に一夜漬けで勉強することも多く、それで苦手科目でも70点くらいは取れていたのはいやと思っていました。もちろん宿題などは提出しますが、授業で分からないことがあっても質問するという意識はありませんでした。得意の国語や英語は授業をしっかり聞いていれば、家でさほど勉強しなくても良い成績が取れていたの、苦手な数学や理科が良くななくても、全教科をおしなべて平均点くらいを取れば十分と思っていたからです。野球部に所属し、部活動や部の友だちと遊ぶことが僕にとって最も大切であ

り、勉強が大事だと分かっているでも本気で取り組んではいませんでした。

◎将来に直結する高校での勉強

高校受験も、「この高校に行きたいから頑張る」というよりは、「今の成績ならここに行ける」という意識でした。そこそこ頑張れば入れそうな公立高校を第1志望校にしたのですが不合格で、併願の私立高校に進学することになりました。普通なら、ここでショックを受けるところですが、僕は自分の実力なら仕方ないと冷静でした。

ただ、大学入試は同じような失敗は出来ないと思いました。僕は中学時代から法学部を志望しています。高校受験と違い、大学受験

僕はAO入試を視野に入れ、1年生の時から企業や団体が開催するイベントなど、校外活動に積極的に参加するようにしました。全国から高校生が集まるので、友だちが増えました。大人と話す機会もあり、視野も広がりました。そういった観点でも参加して良かったと思っています。もちろん、AO入試では高校の評定平均値も重要になるので、学校の勉強も頑張っています。

◎中学時代に基礎を頑張れば良かった

今振り返ると、中学校の最初で数学の基礎をもっと頑張っておけば、ここまで数学が苦手にはならなかったのではないかと思えます。小学校時代は算数が得意でしたが、中学校に入って授業がだんだん分からなくなって勉強から遠ざかってしまい、数学そのものが嫌いになっていました。基礎がないと上に積み上げられない教科なので、早い段階で苦手をつぶしておけば良かったのかもしれません。また、授業でもっと教養を教えてほしかったと思います。授業中の雑談でも、単に面白いことではなく、自分の視野が広がるようなことをもっともっと知りたかったです。